

グレート・ソロイスト
〈Great Soloist〉シリーズ

ダニエル・ゼペック

～ビーバー“ロザリオのソナタ”～

世界で最もミステリアスなヴァイオリン曲集
バロックの奇才 ビーバーの筆致を解き明かす奇跡の夜



ソナタ第1番「受胎告知」のメダイヨン(銅版画)

Daniel Sepec

Heinrich Ignaz Franz von Biber

ダニエル・ゼペック
(ヴァイオリン)

ヒレ・パール
(ヴィオラ・ダ・ガンバ)

リー・サンタナ
(テオルボ、アーチリュート)

ミヒヤエル・ベーリンガー
(チェンバロ、オルガン)

2027 2.10 (水)

19:00開演 (18:15開場)

会場

京都府立府民ホール アルティ

PROGRAM

ビーバー：ロザリオのソナタより

ソナタ 第1番～第6番、第9番～第11番、第14番、第15番

Heinrich Ignaz Franz von Biber: Excerpts from The Rosary Sonatas

入場料

一般5,000円(全指定席・税込)

当日学生券1,500円(全指定席・税込) ※要学生証

※公演当日に残席がある場合は、開場時間から会場窓口で販売します。
HP等にて発売情報をご確認の上、お越しください。
(事前の電話予約は出来ません。)

※やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

※一度のお申込みにつき購入いただけるチケット枚数は4枚までとさせていただきます。

※お買い求めいただいたチケットのキャンセル・変更等はいたしかねます。予めご了承ください。

※会場での録音・録画・写真撮影は固くお断りします。

※当公演のチケットは「特定興行入場券」です。定価を超える金額での転売は禁止されています。

※感染症対策のため咳エチケットにご協力ください。

チケット購入方法

2026年10月1日(木) 12:00発売

●バロックザール・オンラインチケット ※オンライン購入には会員登録が必要です(無料)

●チケットぴあ／t.pia.jp (Pコード333-276)

2026年10月2日(金) 発売

●青山音楽記念館 バロックザール窓口

受付9:30～18:00(休館:毎週月曜・火曜)

※改修工事のためバロックザール窓口販売は、2026年12月27日(日)で終了いたします。

●京都府立府民ホール アルティ窓口

受付9:00～18:00(休館:毎月第1・第3月曜、2026年12月28日(月)～2027年1月4日(月))

本公演はお電話での取り扱いはいございませんので予めご了承ください。

主催・お問い合わせ

公益財団法人青山音楽財団 Tel.075-393-0011

受付=9:30～18:00(休業/月曜・火曜、2026年12月28日(月)～2027年1月5日(火))



ゼベックと欧州きっての名手たちが奏でる、バロック音楽の至宝 那須田 務 (音楽評論)

ドイツの名ヴァイオリニスト、ダニエル・ゼベックは、ドイツ・カンマーフィルハーモニー・ブレーメンとピリオド楽器のバルタザール・ノイマン・アンサンブルのコンサートマスターや現代最高峰のカルテットのひとつと評価が高いアルカント・カルテットのメンバーとして活躍する他、ソリストとしてモダン・ピリオド楽器ともに超一流。常に作品の時代背景を深く掘り下げ、徹底的に楽譜を読み込み、歌うような自然なフレージングと室内乐的な対話に裏打ちされた、想像力豊かな演奏で聴く者を魅了する。気さくで温かな人柄もあって、共演者としてクラスやシュタイアーらから絶大な信頼を寄せられている。

そんなゼベックが、モーツァルトの生まれる百年ほど前にザルツブルクで活躍したヴァイオリン音楽の大家ビーバーの《ロザリオのソナタ》を披露する。マリアへの受胎告知に始まり、キリストの生涯を経て聖母の戴冠へといたる15の秘蹟の場面をヴァイオリンと通奏低音で奏でる、祈りとバロック的な象徴と神秘に満ちた音楽だ。15曲のソナタとパッサカリアからなるが、今回は11曲のソナタが演奏される。最大の特徴は、ほとんどの曲で変則調弦が用いられていること。それによって通常の調弦とは異なる演奏効果や音色が得られるが、一挺のヴァイオリンで続けて演奏するのは困難なのでたいてい複数の楽器を用意する。今回はビーバーに縁のある南ドイツの名器ヤコブ・シュタイナー（1680年製のオリジナル）を含む6挺のヴァイオリンが予定されている。もちろんガット弦とバロック弓だ。共演はガンバのヒレ・パール、リュートのリー・サンタナ、チェンバロ・オルガンのミハエル・ベーリンガー。名人芸と知性を兼ね備えたゼベックによるイメージ豊かなヴァイオリンと欧州きっての名手たちからなる通奏低音が奏でるバロック音楽の至宝。聖書の様々な場面や情感が鮮やかに蘇ることだろう。

ダニエル・ゼベック (ヴァイオリン) Daniel Sepec, Violin

フランクフルト生まれ。ヴァイオリンをディーター・フォルホルツ、ゲルハルト・シュルツに師事。1993年からドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターを務める一方ソリストとしても活躍、ハーディング、ブリュッヘン、ピノックをはじめとする指揮者と共演。また、優れた古楽奏者としてホグウッド指揮のアカデミー・オブ・エンシェント・ミュージックやアンドレアス・シュタイアー（フォルテピアノ）ほかと共演するほか、ウィーン・コンツェルトハウスにおけるビーバーの《ロザリオのソナタ》公演等、バロック・ヴァイオリンによるソロ公演も行い、極めて高い評価を獲得している。リュウベック音楽大学教授。



米国フロリダ州の音楽一家に生まれる。リュートをパトリック・オブライエンおよびスティーブ・スタップスに、作曲をリチャード・コーネルに師事。エマーソン大学では音楽理論と古楽奏法を専攻し、上位の成績で学位を取得。1984年以降は主にヨーロッパを拠点とし、リュート奏者および作曲家として活動、その演奏、作品が多数のCDに収録されている。

Lee Santana, Theorbo and Archlute リー・サンタナ (テオルボ、アーチリュート)

ヒレ・パール (ヴィオラ・ダ・ガンバ) Hille Perl, Viola da Gamba

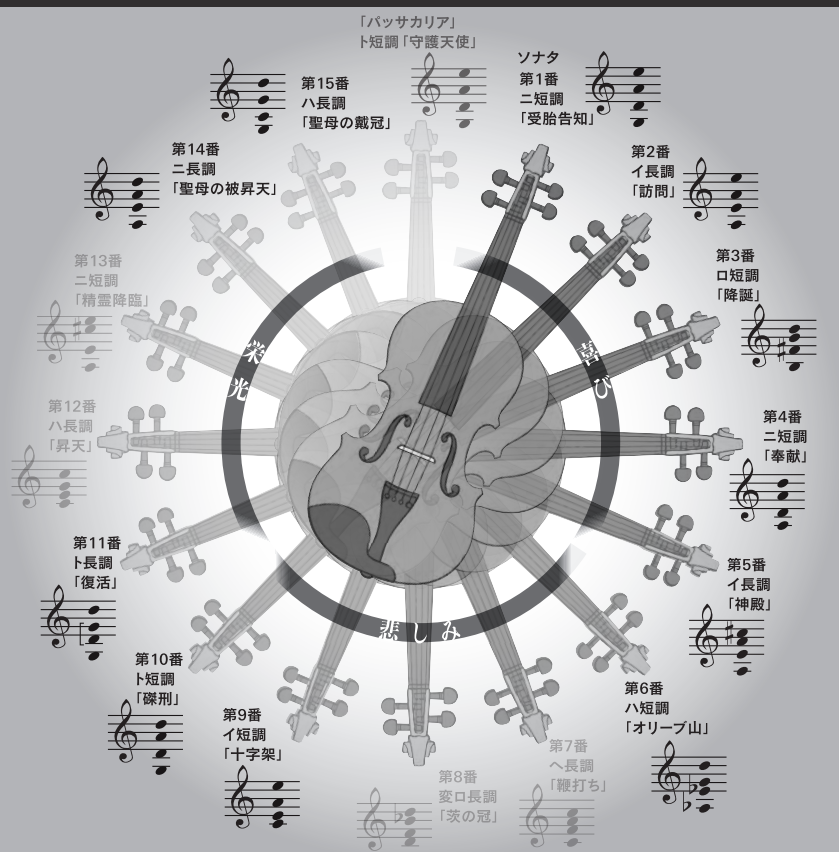
ブレーメンの音楽一家に生まれる。父のヘルムート・パールはオルガニストでモーツァルト研究を専門とする音楽学者。ハンブルクでペレ・ロス、イングリット・スタンバに師事。さらにブレーメン古楽アカデミーでヤープ・テル・リンデンとサラ・カニンガムのもとで研鑽を積む。同アカデミー卒業後は、ソリスト、室内楽奏者として世界各地で演奏活動を開始。リー・サンタナと長年デュオを組み、公演やレコーディングを行っている。ブレーメン芸術大学教授。ドイツ北部の農家で、家族、ニワトリ、馬、猫、ウサギと共に暮らしている。



バート・ゼッキンゲン生まれ。フライブルクで教会音楽を、ウィーンとアムステルダムでオルガン、チェンバロを学ぶ。チェンバロ奏者として、ジョルディ・サヴァール（ヴィオラ・ダ・ガンバ）、ジャン＝ギアン・ケラス（チェロ）、フライブルク・バロック・オーケストラ、トマス・ヘンゲルブロッグ指揮のバルタザール・ノイマン・アンサンブルほかと共演を重ねている。

Michael Behringer, Harpsichord and Organ ミハエル・ベーリンガー (チェンバロ、オルガン)

ビーバー：ロザリオのソナタ スコルダトゥーラ (変則調弦) 一覧



ALTI 京都府立府民ホール“アルティ”
ART LIVE THEATER INTERNATIONAL
〒602-0912 京都市上京区烏丸通一条下ル龍前町590-1
Tel: 075-441-1414

地下鉄烏丸線「今出川駅」⑥番出口より南へ徒歩5分
駐車場はございません。ご来場の際は、公共交通機関を利用してお越しください。

■主催・お問い合わせ
公益財団法人 青山音楽財団 www.barocksaal.com
〒615-8282 京都府京都市西京区松尾大利町9-1
電話 075-393-0011 9:30-18:00
月・火 休館／冬期休業2026年12月28日(月)～2027年1月5日(火)
●バロックザール工休館: 2027年1月6日(水)～2028年春頃まで:
工休館に伴い事務所窓口はございませんが、お電話でのお問い合わせは通常通り受け付けております。
●工休館中のチケットは、バロックザール・オンラインチケット、チケットぴあ、府民ホールアルティ窓口で公演前日まで取り扱い。